



お天道様

校長 石川 鋭一郎

今年度もコロナ禍にあって、学校教育においても一部で制限を受けるなど、臨機応変な対応が求められました。しかし、保護者の皆様をはじめ、関係機関、住民の皆様のご理解とご支援をいただき、年度末を迎えられますこと、厚く御礼を申し上げます。おかげさまで、3月18日(金)の卒業式には19名の卒業生がこの新島中学校を巣立ちます。卒業生の前途に幸多かれと願うばかりです。

さて、成人年齢がこの4月1日より18歳へと引き下げられます。今年度の卒業生で言えば、あと3年で成人となります。4月生まれの人は、2年と1か月ほどです。大人になれば、自由度は増えますが、その分自分を律し、困難に対しても自分が主体であるとの意識をもって解決していくことが求められます。当事者の若者にとっては、少々不安になると思いますが、昔の人の良い知恵があります。それは、「お天道様(おてんとうさま)は何でもご存じ」という教えです。

信号機のある横断歩道では、例え車の往来がなくとも、赤信号で横断歩道を渡ってはいけません。このような場面の時、「誰も見ていなくてもお天道様は見ていますよ」と言われたものでした。自分の心の中にお天道様の存在を意識することで、誰が見ていなくても自分の行動を律していくことができます。

でも、お天道様のありがたさは、これだけではありません。生きていく中で、自分のことを誰もわかってくれないと思う場面に遭遇することがあると思います。努力した自分を認めてくれない、正しいと思う行動をしているのに批判される・・・などです。このような時、つい自暴自棄になりがちですが、お天道様の存在を意識できる人は、お天道様のささやきが聞こえてきます。

「よく努力してきましたね、私はすべて見守っていましたよ。」「あなたは正しい行いをしています。勇気ある行動ですね。」・・・お天道様は何でもお見通しですし、あなたの理解者です。

では、お天道様はどこで意識できるのでしょうか。見ることはできませんが感じることはできます。最初は、新島ですと、太平洋の海原、椿の花、宮塚山、ご先祖様の墓前などで、お天道様の存在を感じられることでしょうか。新島という故郷そのものがお天道様かもしれません。でも、いずれ自分の心の中にお天道様が舞い降り、どんな時でも守ってくれるようになります。

令和4年度も、本校の生徒、教職員、教育活動へのご理解とご支援の程、お願い申し上げます。

今後の行事予定

3月後半

- 14日(月) 全校朝礼
- 17日(木) SC来校日
- 18日(金) 卒業式
- 24日(木) 大掃除、SC来校日
- 25日(金) 修了式・離任式
- 26日(土) 春季休業日(始)

4月前半

- 5日(火) 春季休業日(終)
- 6日(水) 着任式、始業式
- 7日(木) 入学式、給食(始)
- 8日(金) 安全指導、生徒会オリエンテーション
- 11日(月) 身体計測、避難訓練
- 13日(水) 到達度テスト、各種委員会
- 14日(木) 中央委員会



音楽部 新春コンサート開催

1月29日(土)に新島中学校モヤイラウンジにて「音楽部新春コンサート」を開催しました。

今回は、ソロ・小アンサンブル中心の発表会を企画し、金管だけではなく、笛やピアノなど挑戦したい楽器に取り組みました。保護者・生徒限定の公開ではありましたが、一人ひとりの技術力向上を目標にこれまで一生懸命練習してきたことを、観客の前で披露することができ、嬉しく思います。

これからも聴き手に笑顔をお届けできるよう、新中音楽部一同、力を合わせて練習に励んでいきます。

ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。(音楽部顧問：高島綾子、寶珠山菜津、掛水康広)



リレーコラム

ぬいねえどう

～日よけ雨よけそして風よけ～

「問題：『あなたが緊張する瞬間』を相手に分かるように説明しなさい。
ただし、相手はあなたのことを全く知らないし、言葉も通じない人です。」

美術科 山本 美香

もしもこのような問題が出されたら、あなたはどうしますか？難しい問題ですね。では、この問題を美術で解決できないか考えてみましょう。皆さんだったら、「緊張する瞬間」を伝えるために、素材は何を使いますか？色は？形は？完成したらどこに置いて見たら緊張感が伝わるでしょうか…。何となくイメージできましたか？「物事の感じ方」には個人差があります。目の前にコーヒーがあったら「良い香りで美味しそう」と思う人もいれば「苦くてまずそう」と思う人もいますよね。「自分だけの感覚」をどのような形や色に置き換えて社会に発信していくか、それを学ぶことができるのが美術です。美術が無いと、世の中はもっと不便でおもしろくない世界だったのではないのでしょうか。もちろん「美術は苦手」という人もいます。確かに、自分の表現に説得力をもたせるために、色や形、素材や技法などについて学ぶことは多いですし、実際に触れて動かしてみないと分からないことがたくさんあります。考える時は頭の中で言葉を使うので、実は言葉を扱う力も必要です。しかし、まずは恐れずに一歩踏み出してみてもいいのではないでしょうか？やってみると、楽しいですよ！

編集後記～今年度もありがとうございました～

今年度も、学校便り「みやつか」を無事に発行し終えることができました。新中の生徒は日々豊かな環境のなかで健やかに、逞しく成長しています。その様子が、少しでもお伝えできていましたら幸いです。来年度も学校と地域をつなぐ架け橋となれるよう努めてまいります。また、生徒の日々の様子を発信している「新中ブログ」もありますのでぜひご覧ください。来年度も新島中学校をよろしくお願いいたします。

